

HP UPS R1500 Generation 2 インストレーション インストラクション



▲ Important Safety Information

Before installation, read *Important Safety Information* on the Documentation CD.
.Documentation CD قبل التثبيت، اقرأ معلومات هامة حول السلامة على القرص المضغوط

Před instalací si přečtěte příručku *Důležitá bezpečnostní informace* na disku CD.

安裝之前，請閱讀文档 CD 上的 **重要安全信息**。

安裝前，請閱讀說明文件光碟上的「**重要的安全性資訊**」。

Læs dokumentet Vigtige sikkerhedsoplysninger på dokumentations-cd'en, før produktet installeres.
Lesen Sie vor der Installation die *Sicherheitshinweise* auf der Documentation CD.
Enne installimist vt dokumentatsiooni CD-lt peatükki „*Tähtis ohutusteave*“.
Antes de la instalación, lea la sección *Información de seguridad importante* del CD Documentación.
Avant l'installation, lisez les *informations importantes relatives à la sécurité* CD Documentation.
Πριν την εγκατάσταση, διαβάστε *Σημαντικές πληροφορίες ασφαλείας* στο CD Documentation.
לפני ההתקנה, קרא את *המידע הבטיחותי החשוב* שב-Documentation CD
Prije ugradnje, pročitajte *Važne sigurnosne informacije* na dokumentacijskom CD-u.

Prima dell'installazione, leggere sul CD le *Informazioni importanti sulla sicurezza*.
インストール前に、Documentation CDの『安全に使用していただくために』をお読みください。

설치하기 전에 Documentation CD의 **주요 안전 수칙**을 읽으십시오.

Pirms instalācijas, izlasiet drošības informāciju dokumentācijas CD.

Prieš diegdami perskaitykite *Svarbią saugos informaciją* dokumentacijos CD.
Telepítés előtt olvassa el a dokumentációs CD *Fontos biztonsági tudnivalók* dokumentumát.
Lees de *Belangrijke veiligheidsinformatie* op de documentatie-cd voordat u de installatie uitvoert.
Les "Viktig sikkerhetsinformasjon" på dokumentasjons-CDen før du installerer dette produktet.
Przed instalacją przeczytaj *Ważne informacje dotyczące bezpieczeństwa* na dysku CD Documentation.

Antes da instalação, leia as *Informações Importantes sobre Segurança* no CD da Documentação.
Перед установкой ознакомьтесь с разделом *Указания по технике безопасности* на компакт-диске «Документация».

Před instaláciou si prečítajte časť *Dôležité bezpečnostné informácie* na disku Documentation CD.
Pred namestitvijo preberite *Pomembne varnostne informacije* na CD-ju Documentation.
Tärkeisiin turvatietoihin" Documentation CD -levyllä ennen tuotteen asentamista.
Läs dokumentet Viktig säkerhetsinformation på dokumentations-cd:n innan du installerar denna produkt.
Yüklemeden önce, Documentation CD'sindeki *Önemli Güvenlik Bilgileri*'ni okuyun.
Перед установкою прочитайте *Важливі відомості з безпеки* на CD документації.

2006年4月（初版）
製品番号 419177-021

Printed in China

概要

HP UPS R1500 G2は、1Uラックマウント型設計のUPSで、最大1200VA/1000Wの負荷を電源障害から保護します。

このカードで説明する項目について詳しくは、ドキュメンテーションCD または HP の Web サイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manageにあるUPSのユーザ ガイドを参照してください。

注意事項

このカードを大切に保管しておいてください。このカードには、UPSとバッテリーの取り付け、操作、およびメンテナンスの際に従うべき安全に関する重要な注意事項が示されています。

- ⚠ **警告** : 高電圧による感電の危険があります。オプションの取り付け、この製品の定期点検および保守については、**AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。**

- ⚠ **警告** : 漏電による感電を防止するために、次の点に注意してください。
 - 商用電源との接続が切断されている状態で**UPS**を操作しないでください。
 - UPS**と商用電源の接続を切断する前に、**負荷装置の接続を切り離してください。**

⚠ ⚠	UPSにこの記号が付いている場合は、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。
23kg	警告 : けがや装置の損傷を防ぐために、 ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。
50.5lb	

- 📖 **注** : 装置に貼付されたラベルは装置のクラス（AまたはB）を表示するものです。クラスB装置の場合は、ラベルにVCCIロゴが表示されています。クラスA装置の場合は、VCCIロゴが表示されていません。装置のクラスを確認したら、ユーザ ガイドの「規定に関するご注意」の項をお読みください。

キットの内容

- 『安全に使用していただくために』ガイド
- このカードやドキュメンテーションCD
- HP Enterprise Infrastructure Solutions Management Pack CD
最新のソフトウェア バージョンをダウンロードするには、HP のWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manageを参照してください。
- 保証情報
- マウント用ハードウェア部品付きレール
- 関連ハードウェア部品付きマウンティング ブラケット
- UPS
- フロント ベゼル
- シリアル コンピュータ インタフェース ケーブル
- USBコンピュータ インタフェース ケーブル
- リア固定ブラケット

必要な工具

以下の工具が必要です。

プラス ドライバ

設置場所の選定

- ⚠ **警告** : 火災や感電を防止するために、装置は温度および湿度調整が行われ、導電性の汚染物質のない室内に設置してください。

設置場所を選定する際は、次の要因を検討してください。

- 動作時の周囲温度の上昇 - ドアを閉じたラックや多くの装置が搭載されたラックに装置を取り付けると、動作時のラック環境の周囲温度が室温を超えることがあります。装置は動作温度の要件に準拠する環境に取り付けてください。
- 通気性の低下 - ラック内部で、装置の安全な動作に必要な通気速度を維持できるようにしてください。
- 回路の過負荷 - 装置の供給回路への接続について検討してください。 また、回路が過負荷状態になったとき過電流保護機能および配線に及ぼす影響に注意してください。この問題に対応する際は、装置の銘板に記載されている定格に基づいて適切な判断を行ってください。
- 信頼性のあるアース接続 - ラックマウント型の装置は、必ず、信頼できる方法でアースしてください。延長コードの使用など、分岐回路に直接接続する以外の方法を使用する場合は、その接続部に特に注意を払ってください。

- 電気要件 - UPSのすべてのモデルで、ユーザ ガイドの「入力仕様」で説明されている各UPSの定格に準拠する専用（非共有）分岐回路が必要です。

装置の準備

- 梱包箱に添付のラベルに記載されているバッテリーの再充電日を調べます。

- 📖 **重要** : 再充電日付を過ぎたバッテリーを使用しないでください。バッテリーを再充電せずにバッテリー再充電日付ラベルに示されている日付を過ぎた場合は、HPのサービス窓口にご連絡ください。

- 装置を梱包箱に入れたまま、設置場所に搬入します。
- ラックに近い場所で装置を開梱し、装置を組み立てます。

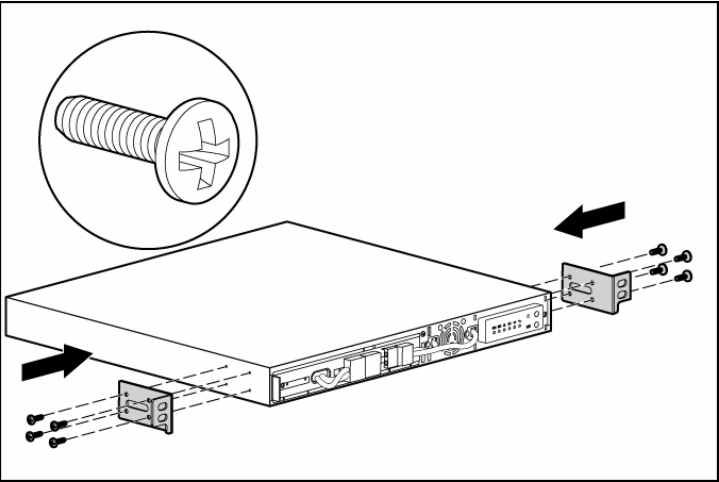
- ⚠ **注意** : 必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

マウンティング レールの取り付け

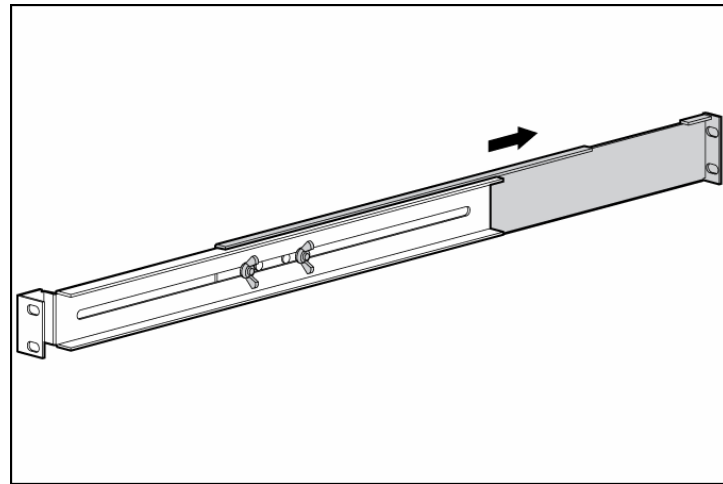
- ⚠ **警告** : けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

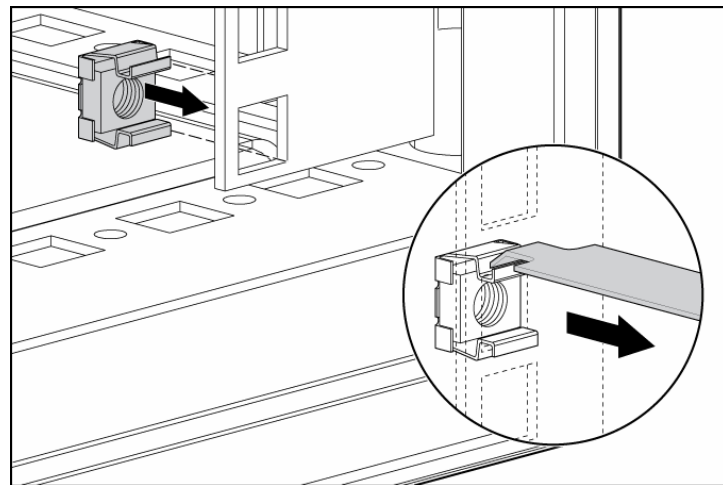
- サイド マウント用ブラケットを、装置に取り付けます。



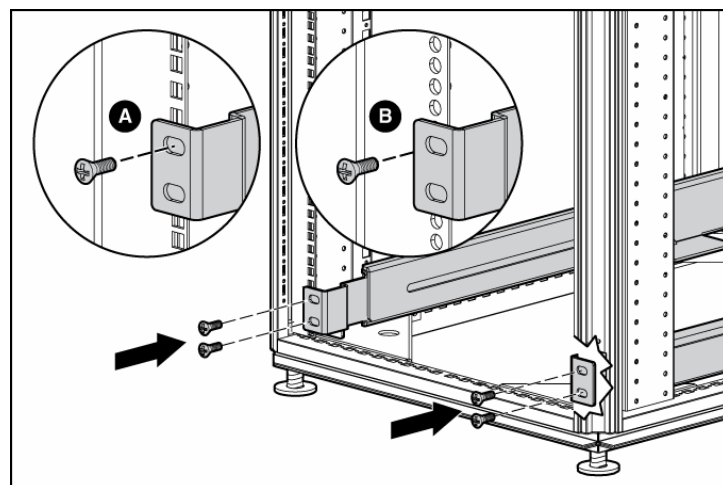
2. ウィングナットを緩めて、マウンティングレールを希望する長さまで引き出します。



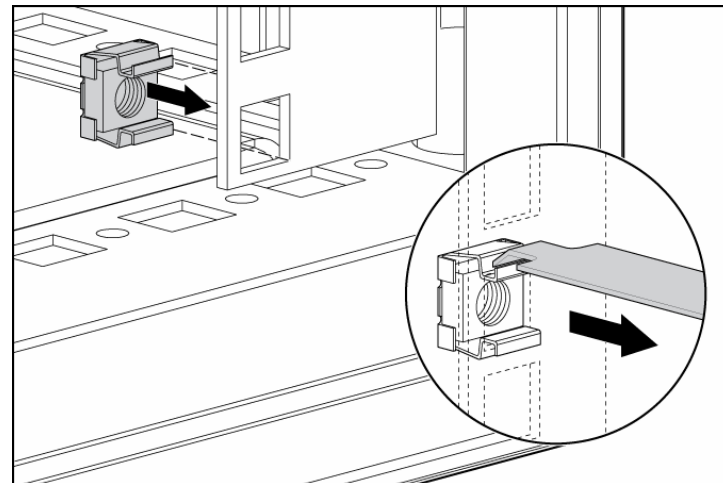
3. ケージナット用工具を使用して、ケージナットまたはクリップナットをラックの背面に取り付けます。



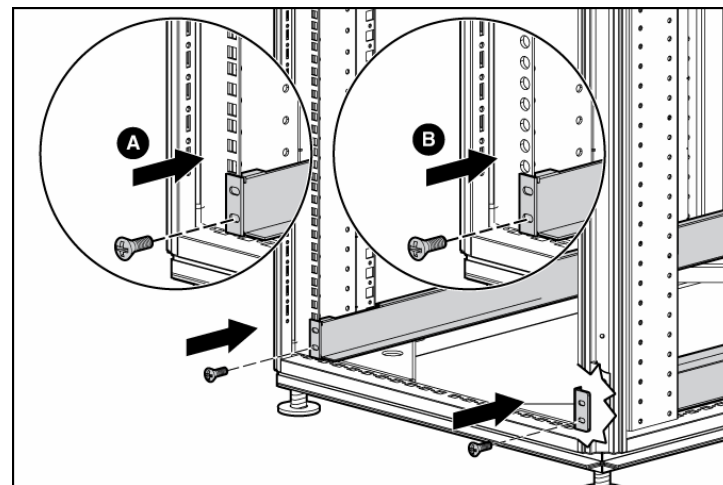
4. ネジをマウンティングレールに通して、ケージナットまたはクリップナットに差し込みます。



5. ケージナット用工具を使用して、ケージナットまたはクリップナットをラックの前面に取り付けます。



6. ネジをマウンティングレールの一番下の穴に通して、ケージナットまたはクリップナットに差し込みます。



7. ウィングナットを締めます。

UPSの取り付け

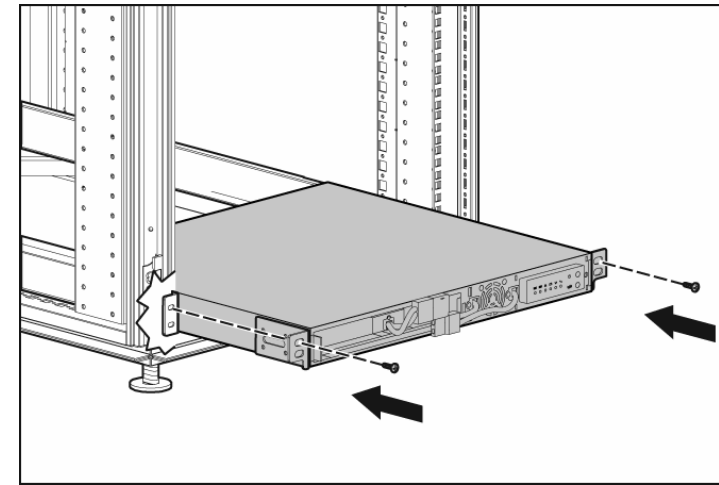
装置を取り付ける前に、「注意事項」(1ページ)をよく読んで、記載されているすべての警告事項に従うようにしてください。

警告: ラックに装置をバランスよく配置しないと、危険な状態が発生する可能性があります。

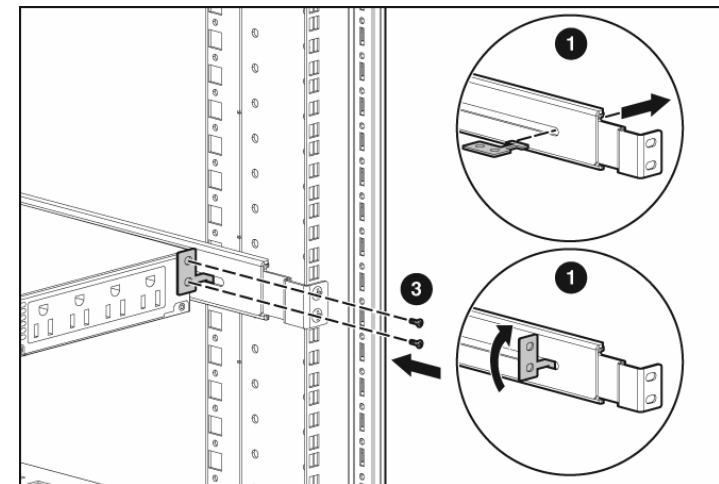
注意: 必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

1. マウンティングレールを取り付けます。(1ページの「マウンティングレールの取り付け」を参照)

2. 付属のネジを使用して本体をラックに取り付けます。



3. (オプション) リア固定ブラケットをマウンティングレールに差し込み、ブラケットをUPSに取り付けます。



バッテリーの接続

警告: この装置には、密閉式鉛蓄電池モジュールが入っています。発火や化学火傷を防止するために、次の注意事項を守ってください。

- 装置から取り外した後のバッテリーを再充電しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- バッテリーの外部端子をショートさせないでください。
- バッテリーを水に浸けないでください。
- 40°C以上の高温にさらさないでください。

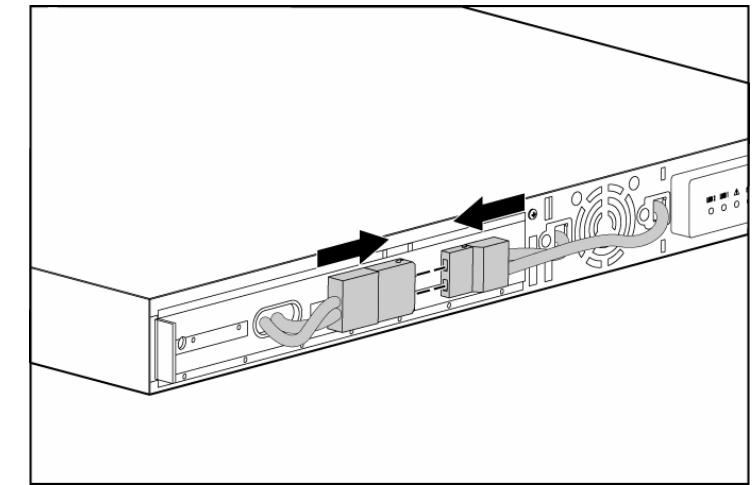
警告: 高電圧による感電を防止するために、次の点に注意してください。

- 腕時計、指輪、またはその他の金属製の装身具を外してください。
- 絶縁材でできた持ち手のある工具を使用してください。
- バッテリーの上に工具や金属製の部品を置かないでください。

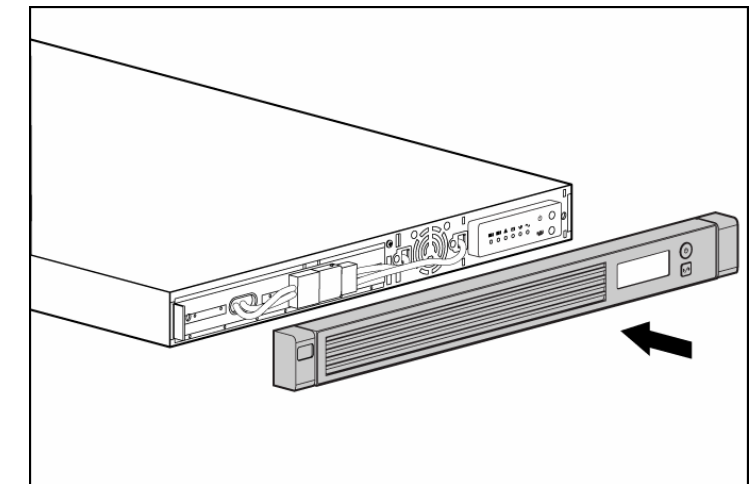
重要: 以下の作業を実行する前に、装置の電源を切り、商用電源から切り離してあることを確認してください。

注: バッテリーを接続する際に、多少のアーキ放電が発生することがあります。これは正常な現象であり、装置が損傷したり安全上の問題を示したりするものではありません。

バッテリーのリード線をバッテリー端子に接続します。



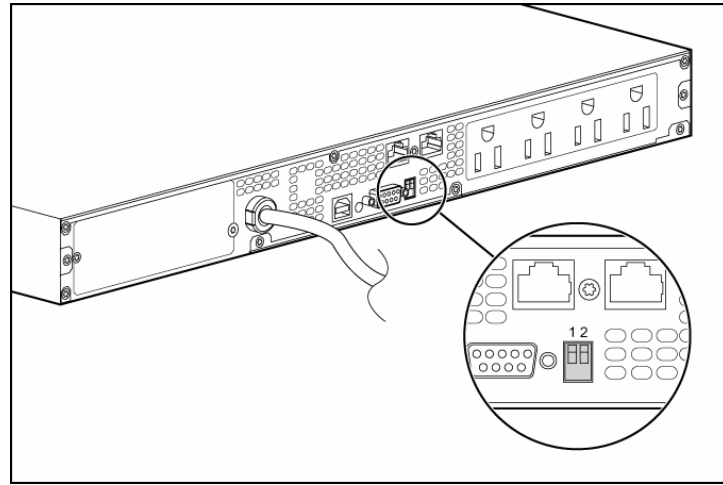
UPS用フロントベゼルの取り付け



UPSの電圧設定の選択

重要：日本における標準の入力電圧は100Vとなります。下の表を参照して、出力電圧が100Vの場合のDIPスイッチの設定を行ってください。

小さな工具を使用して、必要な電圧設定に従って、DIPスイッチの位置を変更します。



注：アスタリスク (*) は、デフォルト設定を示します。

	出力電圧	入力電圧範囲	DIPスイッチ1	DIPスイッチ2
R1500 G2	100 V*	90~106 V	下	下
	110 V	99~116 V	下	上

ホストコンピュータの接続

注意：ホストコンピュータに接続できる通信ポートは1つだけです。2つ以上の通信ポートを接続すると、UPSが予期しない動作をする場合があります。オプションのカードが取り付けられている場合は、シリアルおよびUSB通信ポートは自動的に無効になります。

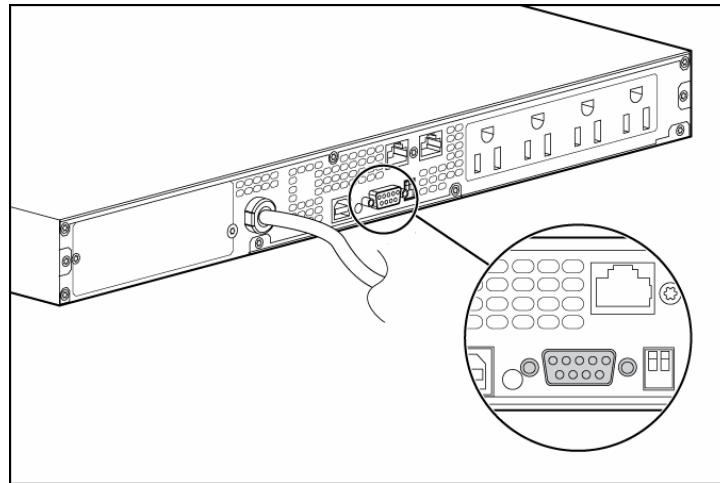
UPSに同梱のUSBケーブルまたはDB9シリアルケーブルを使用して、UPSをホストコンピュータに接続します。HP Power Managerバージョン4.0以上をホストコンピュータにインストールします。HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manage を参照して、最新バージョンのHP Power Managerをダウンロードしてください。

注：ソフトウェアのインストールと設定については、ソフトウェアのユーザガイドを参照してください。ソフトウェアのユーザガイドは、HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manage からダウンロードできます。

シリアル通信ポートの接続

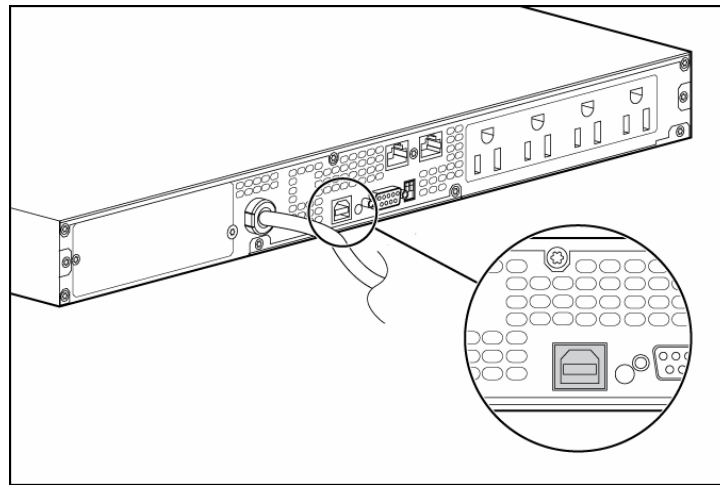
注意：通信ポートとホストコンピュータとの接続には、UPSに付属のコンピュータ インタフェース ケーブルのみを使用してください。

重要：パワー マネジメント ソフトウェアを使用する場合は、通信ポートをホストコンピュータに正しく接続する必要があります。



シリアルポートのピン配置については、ユーザガイドの「シリアル通信ポートのピン配置」を参照してください。

USB通信ポートの接続



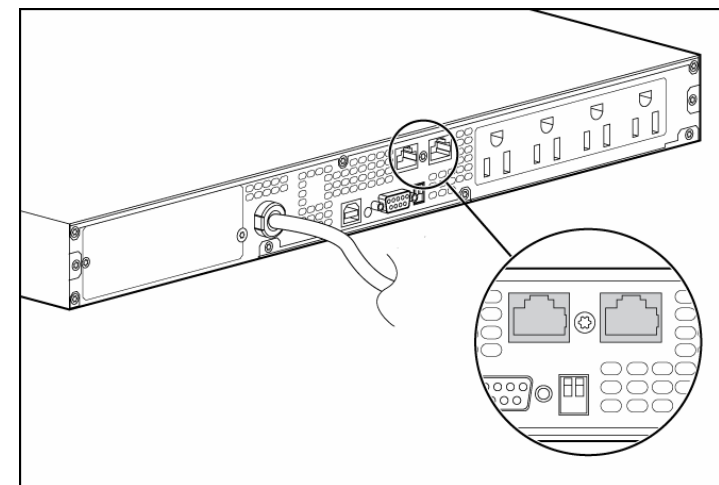
サージプロテクタの接続

注意：装置の損傷を防止するため、サージプロテクタは標準の電話回線でのみ使用し、デジタルPBXでは使用しないでください。

装置をネットワークデータ回線経由のサージから保護するには、以下の手順を実行してください。

1. モジュラージャックとUPSのサージプロテクタのINジャックを接続します。

2. 装置をUPSのサージプロテクタのOUTジャックに接続します。



UPSの商用電源への接続

警告：感電や装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 入力電源コードは、簡単に手の届くところにある装置付近のアース付きコンセントに接続してください。
- 入力電源コードのアース付きプラグは必ず使用してください。アース付きプラグは、安全上重要な機能です。
- 延長コードは使用しないでください。

1. UPSの電源コードをアース付き商用電源コンセントに接続します。UPSを接続すると、バッテリーの充電が始まります。装置の電源を入れるまで、サージおよびバッテリーバックアップ用に指定された出力ソケットで電力は提供されません。

ソケット制御について詳しくは、ユーザガイドの「電源管理」を参照してください。

UPSへの装置の接続

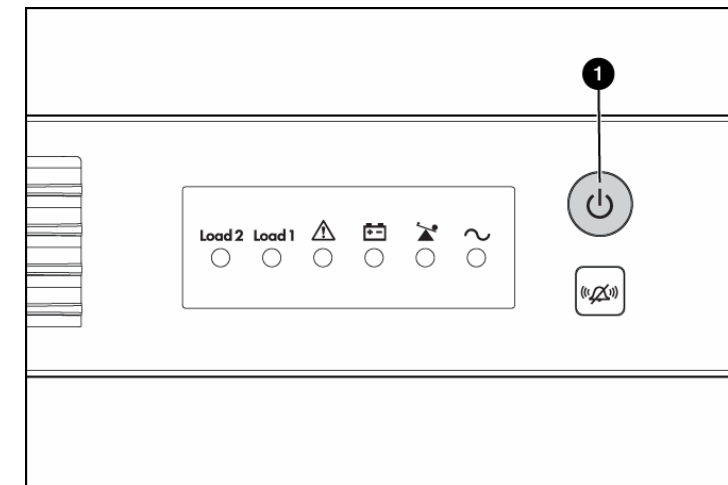
注意：UPSの出力ソケットに、レーザープリンタを接続しないでください。レーザープリンタは瞬間的に電流を消費するため、UPSが過負荷になる可能性があります。

装置を接続する前に、装置の定格がUPSの容量を超えていないかどうかを調べて、UPSが過負荷にならないことを確認します。装置の定格がアンペアで記載されている場合、アンペアの数値に120を掛けて、ボルトの値を調べてください。

UPSが過負荷にならないことを確認したら、装置の電源コードを、UPSのリアパネルにある出力ソケットに接続してください。

UPSの電源投入

UPSからピープ音が鳴るまでPower On/Standbyボタン (1) を押し続けます。電源投入、Load 1、およびLoad 2 LEDが点灯し、UPSの出力ソケットで電源が供給されていることが示されます。



UPSバッテリーの充電

UPSの運用を開始する前に、UPSをスタンバイモードにしてバッテリーを充電してください。

重要：バッテリーを使用して装置へのバックアップ電源を供給する前に、少なくとも24時間充電してください。バッテリーの充電状態は次のとおりです。

- 4時間以内に容量の90%
- 24時間以内に容量の100%

ご注意

© Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使われる場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。